※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和４年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　気づく力築く未来　（実教出版）						
副教材等	LIFE　おとなガイド　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	これからの人生について考えてみよう	・自分の未来予想図を描こう ～生涯発達と発達課題～ ・これからの人生をデザインする	a:人生の各ライフステージの特徴と課題や自分自身と現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。 b:自分の近い将来についてのキャリアや生活についての考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 c:現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲をもって取り組もうとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・発表 ・定期考査	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察
	自分らしい生き方と家族	・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律	a:・自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 ・生活にかかわる労働の意義、現在の労働環境などについて理解できる。 ・結婚、家族・家庭の多様化や時代とともに変化する役割について理解できる。 b:・図表などから家族の形、家庭の在り方や役割について、また時代とともに変化した背景について読み取ることができ、考えを深め、表現することができる。 ・家族・家庭に関する課題・問題点について、社会の背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、レポートを通して発表することができる。 c:・現在の社会状況について、興味をもって知ろうとする態度がある。 ・結婚。家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持とうとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・発表 ・定期考査	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察

※令和４年度以降入学生用

	子どもとかかわる	・子どもとは ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉	a:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身に付けている。 ・子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技能を身に付けている。 ・子育ての意義について理解することができる。 b:子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境、地域社会や国の支援策について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 c:・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に理解しようとする。 ・生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。	・レポート ・定期考査	・レポート ・発表 ・定期考査	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察
	高齢者とかかわる	・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢社会を支えるしくみ	a:高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴、高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。 b:・高齢社会の課題やその解決に向けて情報を収集しまとめることができる。 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とはなにか、自分の考えをまとめることができる。 c:高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで ・衣服の構造・デザイン	a:・衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 ・衣服材料の性能と特徴、衣服管理についての科学的な知識を身につけることにより、衣服を適切に選択し管理することができる。 b:衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。 c:・自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。 ・基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的に取り組もうとする。	・レポート ・製作物 ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・実習態度 ・授業観察
	食生活をつくる	・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理	a:・食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実生活に生かすことができる。 b:・自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 ・栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理の関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など実際の食事作りにむけての判断ができる。 c:・自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。 ・調理実習において、積極的に参加し、グループで協力しながら取り組もうとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・実習態度 ・グループでの話合い ・授業観察

※令和４年度以降入学生用

	住生活をつくる	・人間と住まい ・住まいを計画する ・健康に配慮した快適な室内環境 ・安全な住まい	a:住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。また、健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。 b:現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まい、ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えることができる。 c:住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察
3学期	消費行動を考える	・消費行動と意思決定 ・消費生活の現状と課題 ・消費者の権利と責任	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 b:・消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 ・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 c:自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動について積極的に理解し、消費において自主的に行動しようとする。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察

※令和４年度以降入学生用

	経済的に自立する	・暮らしと経済 ・将来のライフプランニング	a:家庭経済・国民経済などの仕組みについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 c:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	・レポート ・定期考査	・レポート ・定期考査	・レポート ・グループでの話合い ・授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度